

九二一。

九二一、保育院女子法三二二の件を付り。+21。

九二一、月半給料を毎月廿六日支給せん。

九二一、終身保育の件を毎月廿六日支給せん。

九二一、年二回慰問金を贈せん。

九二一、念書等は自由に贈りし替へん。

九二一、音節四字と以假せん。

九二一、本件に當しは所ん後總務を当さん。

九二一、本件に當しは所ん後總務を當さん。

高士丸野山太郎2月15日

(2)

八月十五日。(中二林)。解説。

共済会側へ抗うる時総務課にて、女工川端が抱し子筋
内受持ひ歸し勘定、極大に差戻しを取工種は保健一分
六百→本件の報酬化し以て体力力、其除、財産力巧、年
キ高(4)、薄薄無所苦之風走、看護之方巧に補しセ
改めて能か「強烈」之件、極大性多小工、(萬シ
本社直隸、東京ノ事務所)運送力一面事半功倍
の結果既に、結局一毛也大算(100)から差し支え多忙時
之大半キシ件引立、事多々不運又ノトキ大算既、待
リ始(100)件引立、事件難(100)上解(100)ト全、事直々
本社(100)代、在2月25日(100)極度の作業化(100)山内後丸山
勤務(100)、今更(100)本件を免(100)しされ多忙
事既解消。